

日本中世英語英文学会 第40回全国大会

2024年12月7日(土)・12月8日(日)

福井大学 (文京キャンパス)

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

(大会本部：総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 222S講義室)

開催校連絡先：jones@u-fukui.ac.jp

第1日 12月7日(土) 12:10-17:30

開会式・総会 (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 12:10-12:40

研究発表Ⅰ (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 12:55-15:15

1. *Beowulf* と *Andreas* における関係代名詞の比較
2. *sume niht* — 例外的副詞の対格、あるいは女性具格 —
3. 古英詩に用いられた *for*-verbs

田尻小夏 (京都大学大学院)
中西志門 (三重大学)
小倉美知子 (千葉大学名誉教授)

研究発表Ⅱ (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 224M講義室) 12:55-15:15

4. 中英語韻文作品における複合数詞
5. 後期中英語における形容詞を伴う非人称構文の統語的考察
6. 中英語聖書における法助動詞選択：テキスト間の差異の分析から

木原桃子 (慶應義塾大学大学院)
福元智子 (京都大学大学院)
佐藤信正 (独立研究者)

特別シンポジウム (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 15:30-17:30

“Literary and Cultural Exchanges between England and Scandinavia from the 11th to the 14th Century”

パネリスト：伊藤 尽 (信州大学)、Richard NORTH (UCL)、岡本広毅 (立命館大学)、松本 涼 (福井県立大学)

第2日 12月8日(日) 9:00-12:30

研究発表Ⅲ (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 9:00-10:30

7. 高等教育機関における英語史を取り入れた実践型英語教育について — 高等専門学校における実践例 —

岡田 晃 (小山工業高等専門学校)
海老久人 (神戸女子大学名誉教授)

8. 日本におけるアーサー王研究史 — 舟橋雄のこと

研究発表Ⅳ (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 224M講義室) 9:00-10:30

9. 2つの聖ゲースラーク伝の比較：フェリックスによるラテン語散文版と古英詩 *Guthlac A* との間の類似点および相違点

高山真梨子 (慶應義塾大学大学院)

10. 『アングロ・サクソン年代記』E写本における *The Rime of King William* の意義について

福田一貴 (駒澤大学)

研究発表Ⅴ (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 211M講義室) 9:00-10:30

11. 初期中英語の韻文における「時」と「場所」を表す副詞句の順序について
12. 「賄い屋の話」から見る『カンタベリー物語』の「巡礼」の変容について

高橋佑宜 (神戸市外国語大学)
本田崇洋 (福島工業高等専門学校)

ラウンドテーブル (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 10:40-12:20

「承前啓後 — 日本におけるこれからの中世英語英文学研究を考える」

司会：Britton BROOKS (九州大学)、狩野晃一 (明治大学)

パネリスト：唐澤一友 (立教大学)、小河 舜 (上智大学)、徳永聡子 (慶應義塾大学)、三浦あゆみ (東京大学)、小宮真樹子 (近畿大学)

閉会式 (総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 223L講義室) 12:20-12:30

* 受付は、12月7日(土) 10:00-16:00、12月8日(日) 8:30-10:50に総合研究棟Ⅳ (工学系2号館) 1F エントランスロビーで行われます。

* 一般会員の年会費徴収は行いません。

日本中世英語英文学会 (会長 鈴木敬了)

事務局：〒175-8571 東京都板橋区高島平1丁目9-1

大東文化大学文学部 英米文学科 小池剛史研究室内

連絡先：jmes.2023.2024@gmail.com

【大会準備委員】

藤井香子 (委員長) 井口 篤 (副委員長) 岡崎久美子 小河 舜 新川清治 泉類尚貴 渡辺直子